

K E
気

SGH 通信

K O H
高

海を素材とするグローバルリテラシー育成
～東日本大震災を乗り越える人材を目指して～

第13号 平成29年11月1日発行

「地域社会研究」フィールドワークを実施

10月4日（水）、地域社会研究（1学年）で気仙沼市内フィールドワークを行いました。昨年度に引き続き、気仙沼市役所や宮城県関係機関、市内の企業や事業所の方々から、研究に役立つ貴重な情報を提供していただきました。11月15日（水）の午後、中間発表会を開催します。

【フィールドワーク先】（敬称略・順不同）

- ◇気仙沼水産試験場 ◇株式会社 中華高橋水産
- ◇NPO法人「森は海の恋人」 ◇(株)三陸新報社
- ◇一般社団法人気仙沼観光コンベンション協会
- ◇一般社団法人まるオフィス ◇リアス・アーク美術館
- ◇みやぎ心のケアセンター 気仙沼地域センター
- ◇阿部長商店水産事業部気仙沼食品 ◇気仙沼商工会議所
- ◇気仙沼地域エネルギー開発株式会社
- ◇市役所三陸道・大島架橋・唐桑最短道整備促進課
- ◇気仙沼市教育委員会学校教育課 ◇市役所産業部水産課
- ◇市役所水産基盤整備課 ◇市役所総務部危機管理課
- ◇市役所震災復興・企画課 ◇市役所産業部観光課
- ◇市役所地域づくり推進課 ◇岩井崎現地視察
- ◇気仙沼市立病院（11月8日訪問予定）



気仙沼湾を望む（水産課）



森は海の恋人

台湾研修に行ってきました。

創造類型17名が参加。大学生や高校生との交流では、自分の質問に加え、預かっていた級友の質問も英語で聞いてくることができました。日本との文化の違いはもちろんのこと、「言葉の壁」の厚さを改めて実感した生徒が多かったようです。台湾の皆様のおかげにより充実した台湾研修となりました。



成功大学



台南高級海事水産職業学校

- 10月4日（水） 移動日
- 10月5日（木） 午前 国立成功大学にて研究発表・施設見学
午後 台南高級海事水産職業学校にて研究発表・交流
- 10月6日（金） 午前 フィールドワーク

- 1班 市内中心部 気仙沼6名+成功大6名
永楽市場→赤崁楼→林百貨店
台南市の街づくりや市民生活、歴史について大学生と街を巡りながら話し合いました。
- 2班 安平地区 気仙沼7名+台南海事6名
安平古堡→書道ミュージアム→安平樹屋
途中から3名は西門国民小学校へ訪問
安平区の歴史や街づくりを台南海事学校の生徒に紹介してもらいながら巡りました。
- 3班 七股地区 気仙沼4名+成功大5名
塩田文化村→七股塩山→將軍觀光漁港
台江国家公園に指定されている地域を見学し、海と共に生活してきた様子を大学生と巡りました。

10月6日(金) 午後 台南歴史博物館見学 → 台北へ
 10月7日(土) 午前 基隆にて海岸探索 → 海洋科技博物館
 → 九份(昼食)
 午後 故宮博物館 → 忠烈祠
 10月8日(日) 移動日



九份にて

【生徒の声】 成功大学で中国語の挨拶が伝わらなかったのが悲しかったので、これを機に勉強したい／大学教授の発表で英語がバンバン使われていてついていけず、会話として使える英語を身につけたい／自然と男女分かれて席に座っていたら、「日本はみんな男女別々にするの」と驚かれた／思ったより日本製品が多い／日本語を話せる人が多い／現地の人とたくさん話をできて良かった。英語圏ではないが英語を多く使う機会があった／小学校の英語の授業では、生徒が積極的に参加しているのが印象的だった／海がこんなにも面白いと思わなかった／台湾の人は英語でのコミュニケーション力が高かった。readよりもlistenが重要だということに身染みて感じた／九份は人が集まる観光地だけあって魅力がたくさんあった

1学年「キャリアセミナー」を実施

10月14日(土)、気仙沼西高校を会場にキャリアセミナーを実施しました。生徒は35講座の中から2つの講座を受講しました。「なりたい自分」の見本となる大人との交流を通して「学ぶことの意義や大切さ」「現在の学習と実生活の関わり」を実感することができました。

【キャリアセミナー講師】(敬称略) 寺田正志：株式会社ミヤカン、後藤初枝：はあとライフえにし、笠原一城：NPO法人浜わらす、小野寺憲一：気仙沼市役所、渡邊幸市：気仙沼ワークス株式会社、尾形長治：株式会社丸和、菅原渉：株式会社菅原工業、吉田美夏：(社)コ・エル相談支援センターじょいん、小松志大：気仙沼市産業部産業再生戦略課、鈴木歩：ペンシーネクストスイッチ、野田歩：気仙沼信用金庫、加藤拓馬：一般社団法人まるオフィス、高橋裕子：気仙沼市立松園幼稚園、佐藤俊輔：株式会社カネダイ、澤井律子：株式会社パートナーズ、菅原大路：写真サガワラ、三浦一樹：三陸新報社編集局、塚本卓：特定非営利活動法人気仙沼まちづくりセンター、星野知宏：ネノキチファーム、横田聡：気仙沼地域エネルギー開発株式会社、佐藤賢：NPO法人ピースジャム、千葉正樹：貫正・Lagoon Guide Tours、鈴木あい子：フィットネスサロン Seleno.、小柳元樹：RIAS WOOD 阿部愛里：慶應義塾大学、小野寺真希：東北芸術工科大学 / 気仙沼まち大学、神林俊一：一般社団法人プレーワーカーズ、福田沙織：Photo Win、神田大樹：一般社団法人 i.club、志田淳：memento mori / DE_FAULT、小野寺千春：気仙沼市立階上保育所、小林峻：一般社団法人まるオフィス、斎藤祐輔：NPO法人底上げ、佐藤慶治：一般社団法人南三陸町観光協会、杉浦恵一：株式会社 今



勝負は「30歳」！ 三浦様

「学問探究課題研究」発表会を実施

10月14日(土)、2年人文・理数類型の生徒が「学問探究課題研究」発表会を行いました。2学年の総合的な学習の時間では、1年次の「地域社会研究」よりも自由度を拡大し、この先の進路を見据えながら個人又はグループで興味・関心のある分野について8月から研究に取り組んできました。

【11月11日(土)に発表する領域代表のテーマ】

芸術分野：勉強中に音楽を聴くのは良いか 経済・経営分野：サブカルチャーが地域経済に与える影響 文化・地歴・語学分野：①社会の移り変わりと、方言の使われ方に関係はあるのか②わらべうたは存在しつづけるのか 理学分野：睡眠と記憶 人間科学分野：風呂を温泉ほどのリラックス効果のあるものへと変えられるのか 教育分野：朝と夜で効果の良い勉強法に違いはあるか 農業水産分野：気仙沼湾を生かした釣りスポットをつくるには 建築都市開発分野：災害に強い街づくりを維持していくことはできるのか 健康心理分野：苦手な食べ物を克服することは可能か 法律政治分野：日本の平和 家庭生活分野：妥協物は正しいのか 医療分野：高校生の精神的問題に最適な対処法は何か 工学分野：コンピュータの発達で将棋の世界に変化はあるのか

「課題研究Ⅰ」中間発表会を実施

10月24日(火)、2学年創造類型の中間発表会Ⅰとして「防災まちづくり」「まちづくり」「教育・不平等」「経済」「健康福祉」「飢餓・技術・海・エネルギー」の領域に分かれ、集まったメンバーでお互いに発表し合い、意見交換を行いました。また、この発表会はSGH運営指導委員の方々にも参観していただきました。10月27日(金)には大学の先生方をアドバイザーとしてお招きし、第1体育館を会場に中間発表会Ⅱを実施しました。今年度の成果発表会は1月27日(土)に実施する予定です。